

おいしい栽培

鈴木農場・伊東種苗店 店主 **鈴木 光一**



私は、福島県郡山市で現在まで30年間、野菜の直売所を運営してきました。また、縁あって平成8年より種苗店も兼営することになり直売所とタネ屋の両面から農業を考えるようになりました。日本農業が進む方向性の一つは、本当にお客さまが欲しいと思える「価値のある商品づくり」をしていくことだと感じています。そのためにも、野菜の品種選びをしっかりと行いましょう。



↑「京くれない」(左)のジュースは驚くほど味が濃く、「京くれないEX」(右)もそのよさを引き継いでいます。

人気のニンジン「京くれない」の改良型が「京くれないEX」です。「京くれない」は、金時ニンジンの特長である赤色で、機能性成分であるリコピンとカロテン両方の成分を含んでいます。甘みが特に強く生食から加熱調理まで使える人気のニンジンです。直売所で「京くれない」のニンジンジュースを試飲してもらおうと、その甘さ、味の濃さにみなさん驚かれます。この「京くれない」の特長に栽培のしやすさを加えた品種が「京くれないEX」です。

おいしいに栽培しやすさが加わった「京くれないEX」

直売所出荷作業

(福島県郡山市)

月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
京くれない							●	—	■		
京くれないEX	①			●	—	■					
	②						●	—	■		
	③									●	—

● 播種 — 生育 ■ 収穫

●「京くれないEX」は①春まきの夏出荷と②夏の早まきによる秋の早出しが当地で可能となった。



「京くれないEX」の特長

- ① 東洋系である金時ニンジンと西洋系ニンジンの中間種。
- ② リコピンやカロテンなど機能性成分を多く含んでいる。
- ③ 肉質が緻密で、甘く、味が濃い。
- ④ 生食、加熱いろいろな用途に対応できる。
- ⑤ 「京くれない」に比べ抽苔が安定していて、春まき、夏の早まきも可能。



栽培のポイント

土づくり

ニンジンは、根菜類で根が長く伸びる作物なので、畑はしっかりと耕します。有機物を入れて保水性があり、排水性のよい土づくりをします。わが家ではニンジンの前作にえん麦を緑肥として入れて土づくりをしています。pHは、5.5～6.5ぐらいに調整します。元肥は全体の3分の2の量、チッソ成分で10a当たり12kgほどを入れます。

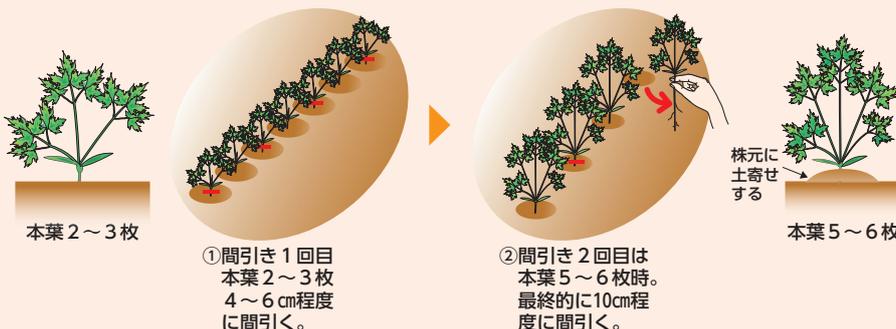
播種

播種は、株間2～4cmに1～2粒まきで均一に行います。しっかり鎮圧をして発芽をそろえるようにします。播種機などを使うと容易に播種することが可能です。

間引き

1回目の間引きは、本葉2～3枚ぐらいになったとき、2回目の間引きは、本葉5～6枚ぐらいのときに行います。最終的に株間10cmぐらいに仕上げます。

「京くれないEX」の間引き



追肥・土寄せ

後半の肥切れを避けるため、2回目の間引き時に追肥(10a当たりチッソ成分で5～6kg)を施します。本種の吸肥性は強くないので青首防止のため土寄せをしっかりとします。

防除

黒葉枯病対策と早まきによるキアゲハ防除をしっかりを行います。

収穫・出荷

適期播種120日ぐらいで収穫になります。赤い根色と食味のよさが売りのニンジンです。しっかりピーアールして販売していきましょう。

ニンジンが発芽をそろえるポイント

- ニンジンは、きちんと発芽させることができれば栽培の半分は成功したと言えます。うまく発芽させることがニンジン栽培の最大のポイントです。
- 発芽には水分を必要とするので畝は事前に作っておき、降雨後すぐに播種。
 - 播種は均一に種子が乾燥しないようにしっかりと鎮圧。
 - 地温が発芽適温(15～25℃)に近づくようにコントロールしてやる(地温低下、乾燥防止のためわらやもみ殻をかけてやる。「芽出たいシート」なども活用)。
 - 播種後10日ほどで発芽させることが大切。



「スワン」の特長

- ①肉質がやわらかく、甘みがあること。
- ②肌色が真っ白で、尻詰まりがよく形がきれいなこと。
- ③小カブから、中～大カブまで収穫可能なこと。
- ④栽培が容易なこと（プランターなどでの栽培も可能）。



↑肌の白い「スワン」はやわらかくサラダなどに最適です。

「スワン」直売所出荷作型

(福島県郡山市)

月	8			9			10			11			12			1			2		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
露地			●				■	■	■	■	■	■									
ハウス							●						■	■	■	■	■	■	■	■	■

● 播種 — 生育 ■ 小カブ □ 中カブ ■ 大カブ

「スワン」とは、白鳥のように真っ白で、カブの形がきれいなことから名前が付けられたと聞いています。

直売所の秋冬野菜で人気があるものにカブがあります。中でも甘い、やわらかいサラダカブは特に人気です。たくさんあるカブの品種で、サラダカブの元祖というべき品種の一つが「スワン」です。

サラダカブに最適 「スワン」のおいしい栽培

小カブから大カブまで出荷可能で、直売所農家にとってはとても魅力のある品種です。わが家では、畝間20cm、株間8cmのやや密植で播種します。

収穫は、間引く感じでカブの直径5cmぐらいから小カブとして収穫を始めて、中カブ、そして直径15cmの大カブまで収穫していきます。

それに、ずらし播種(段まき)とハウスの利用を加えて、秋冬の長い期間いろいろなサイズのカブを出荷しています。

栽培のポイント

☑ 土づくり

カブの生育に適切なpHは5.5～6.5です。カブは、根菜類で根が大事です。有機物を入れて保水性、排水性よい畑づくりをしてください。元肥は10aあたりチッソ成分で15kgを目安とします。

☑ 播種

小カブどりであれば株間10～12cm、中～大カブどりであれば株間15～25cmとします。「スワン」で小カブ～大カブの随時収穫であれば株間8cmくらいでも大丈夫です。カブはタネが小さく播種しにくいので、わが家では、シーダーテープ加工をして播種機でタネまきをしています。



↑「スワン」はプランターでも栽培が可能です。

☑ 防除

アブラムシ、アオムシ、キスジノミハムシ、コナガなどの害虫が付きやすいので、早めに防除することを心掛けてください。カブは葉の部分も商品なので、きれいな葉に仕上げてください。

☑ 収穫・出荷

小カブ出荷であればカブの直径5cmぐらいから随時収穫してください。葉もおいしいので葉付きでの出荷がおすすめです。白くきれいでやわらか、甘みのあるサラダカブとして出荷しましょう。



→ 「スワン」は葉もきれいでおいしいので葉付きで出荷してください。